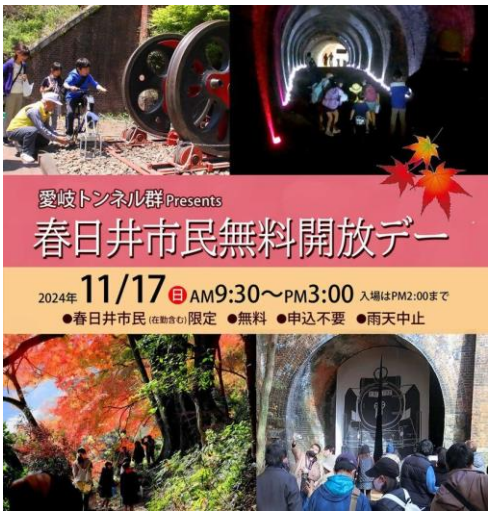
愛岐トンネル群 春日井市民無料開放デー

NPO法人愛岐トンネル群
保存再生委員会

資料１



●概要
通常、春と秋の特別公開時のみ公開している愛岐トンネル群を、春日井市民限定で無料で楽しむことができるイベント

●日時
11/17（日）9:30～15:00

●参加者
1,353人

●総事業費
608,394円（うち当補助金400,000円）

エコ交通システム

トンネル内で長い距離を安全に通行するための自走式自転車。春日井工科高校・名古屋市立工芸高校・中部大学工学部に加え、中部大学や自転車メーカーである（株）東部の協力で開発した試作機（長さ28m）。

↑中部大学学生によるボランティアスタッフ

協力団体によるワークショップ

ハンカチ染め教室（150セット）
団体：森のたんけんたい

缶バッジ作り（100個）
団体：かすがい自然学校

●成果や課題（主催者）

秋の特別公開に先駆け、自転車を活用したエコ交通システムの体験を実施。また、ハンカチ染め教室や缶バッジ作りといったワークショップも好評であった。翌週から行われた秋の特別公開の来場者を当イベントに分散したい意図（オーバーツーリズム対策）もあったが、特別公開時に当イベントと混同し無料と勘違いする春日井市民が多く発生するなど、告知や分散がうまくいかなかった。逆に、特別公開時と比較して「混雑のない状況でじっくり見学できた」との感想も多かった。

●市の評価

今回のイベントは秋の特別公開時の来場者を分散させる効果も狙ったが、同公開時の状況等を見ると、効果は限定的であったと思われる。また、補助金を活用したエコ交通システムの試験運用は、市民限定の公開と併せトキ・コト消費につながるにぎわいを創出した。
秋の特別公開でも、マスコミ関係はじめ注目度の高い設備となっている。試験運用を重ね、本格運用ではさらなるにぎわい創出につながることを期待したい。

朝宮あかりナイト

朝宮発展会

●概要
朝宮公園及びケローナ通りにてサイトアップが実施され、様々なフードやドリンクの販売、ワークショップ、音楽の生演奏等が開催されるイベント

●日時
あかりナイト
11/30(土) 12時～20時

プレあかりナイト
11/25 (月)～11/29(金) 16時～19時

●参加者
延べ約3,000人

●総事業費
1,239,059円（うち当補助金351,000円）

キャンドルライトアップ

キャンドル作り体験

演奏会

ケローナ通り
（プレあかりナイトから）

●成果や課題（主催者）

近隣の事業者を中心に出店店舗を誘致し、売り上げと知名度向上につながった。また、地元の住民や学生によるボランティアに設営を協力してもらうことで、地元への愛着の醸成につながった。当日はファミリー層を中心に多くの人が来場し、にぎわいの創出に寄与した。

●市の評価

今回で４回目となるイベントで、例年協賛や協力金を募り、飲食や物販も工夫し、収益確保に取り組んでいる。自助努力による収益確保に努めており、自立した運営により同イベントの継続実施を期待したい。

サボテン俳句ウォーキング

新東通信

●概要

春日井市内を散策しながらサボテンにも触れつつ、先生と一緒に楽しく俳句を詠むイベント。

●実施日及び参加者

8/29（月） 18名参加（うち市外から９名）
コース：市役所付近～イーアス春日井

10/24（木） 12名参加（全員市外から）
コース：勝川駅周辺

2/20（木） 22名参加（うち市外から16名）
コース：市役所周辺

８月

店に並ぶサボテンを観察

10月

市内を散策

２月

独特なデザインの建物を見学

句会で俳句を披露

サボテンスイーツを食べながら句会

公園で自然を感じながら句を詠む

●成果や課題（主催者）

「俳句」や「春日井」「サボテン」「ウォーキング」といったキーワードをきっかけに、子どもからお年寄りまで幅広い世代の人が参加。市外からの参加者も多く、ぜひまた開催してほしいという声が何度もあがっていた。

●市の評価

自身が読む俳句に対する講師のアドバイスや講評、他の参加者からの評価があり、参加者にとって満足度の高いイベントとなった。専門分野に長けた人材からの学びや評価の要素がリピート率の高いイベントのポイントと考える。
また、市外からの参加者も多く、市内のスポットや魅力を知ってもらうとともに、春日井サボテンのＰＲにもつながった。
今後企画するイベントの参考となるよう、市文化スポーツ振興課や観光コンベンション協会とも情報共有を行う。